

海岸

宮崎市北部の海岸を守り育み
台風の高波等の災害から地域を守る



宮崎海岸について(環境と利用)

宮崎港から一ツ瀬川間の宮崎市北部の海岸(宮崎海岸)は、白砂青松の海岸で良好な海岸景観を有しており、アカウミガメ(県天然記念物)をはじめとする野生動植物が生息・生育するほか、漁業、サーフィン、釣りなどの利用が盛んに行われています。

海岸侵食の経過

しかし、近年、砂浜の侵食が進行し、台風等が来るたびに波が浜崖を削って背後の道路まで迫ったり、整備された護岸も繰り返し被災する状況となったため、平成20年から国が直轄事業として事業を実施しています。

砂浜の長期的地形変化

大炊田海岸



昭和60年



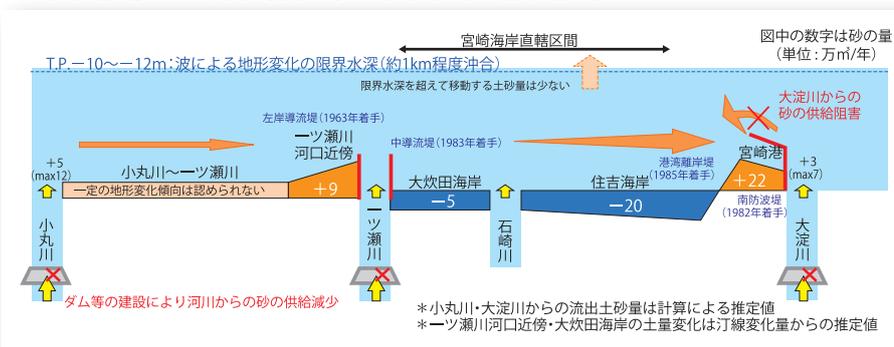
平成20年



台風の高波による被害状況



▼長期的な地形変化(土砂収支の推定図)



宮崎海岸における土砂収支の概要

- 波浪および沿岸流の観測結果とレーザー調査結果から、宮崎海岸では南北両方向への土砂移動があるものの、**全体としては北から南に向かう漂砂が多い**と推定。
- 大炊田海岸から住吉海岸では**年間20~30万 m^3 /年の規模で海浜土砂量が減少**。
- 宮崎海岸の地形変化は、**主として標高-10~-12mの範囲まで発生**。

目的

- ◇ 海岸の環境や利用と調和を図りつつ、海岸侵食に脅かされる海岸背後地の**人々の安全・安心を確保**するとともに、国土を保全する。

目標

- ◇ 「**背後地(人家、有料道路等)への越波被害を防止**すること」を防護目標とし、そのために必要な「**浜幅50mの確保**」を達成することを目指す。
- ◇ 現況汀線位置が浜幅50m以上である区域については、流砂系も含めた対策により、その保全・維持を目指す。

考え方

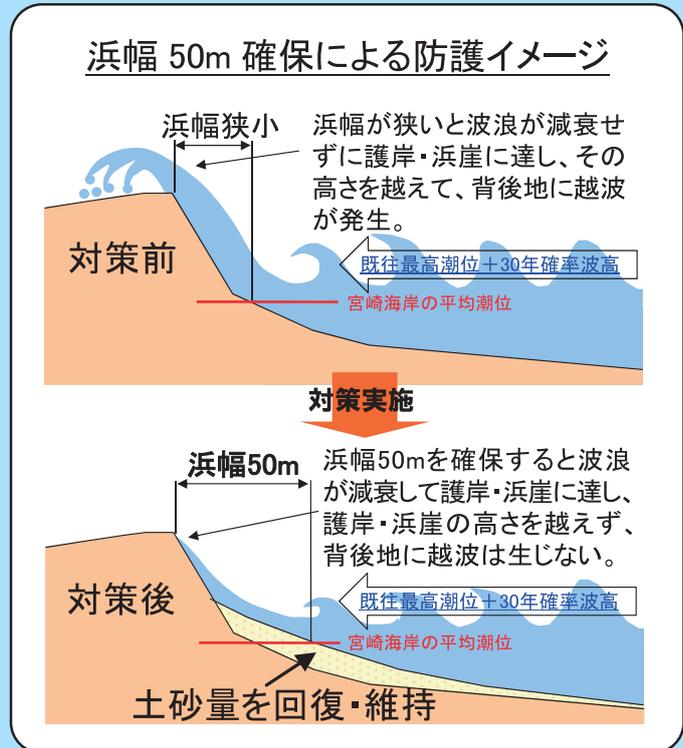
- ◇ 北からの流入土砂を増やすこと(**機能①**)、南への流出土砂を減らすこと(**機能②**)により、これまでに失われた宮崎海岸の土砂量を回復・維持し、砂浜を回復維持する。
- ◇ 急激な侵食の危険性がある区域において、浜崖の後退を抑制する(**機能③**)。

配慮事項

- ◇ 新たに設置する**コンクリート構造物**は出来るだけ**減らす**。
- ◇ それぞれの**区域の特徴**に応じたものとする。
- ◇ 豊かな**自然環境**を最大限**残す**。
- ◇ 美しい**景観**、**漁業・サーフィン・散歩等の利用**に**配慮**する。
- ◇ (直轄)工事完了後も**維持管理**に過剰な**負担**がかからないようにする。
- ◇ **山、川、海における土砂の流れ**に出来るだけ**連続性**をもたせ、将来は自然の力による砂浜の回復・維持を目指して、様々な取り組みを行っていく。
ただし、その取り組みは時間がかかることから、当面は他事業とも連携した養浜を積極的に実施していく。

事業の進め方

- ◇ 今後もこれまでと同様、「**宮崎海岸トライアングル**」および「**宮崎海岸ステップアップサイクル**」の考え方に基づいて進めていく。



宮崎海岸保全整備事業



事業進捗状況
【令和3年度末時点】
<突堤>
突堤: L=75m
補助突堤①: L= 50m
補助突堤②: L= 50m
<埋設護岸>
大炊田地区: L=1,600m
動物園東地区: L=1,100m

「宮崎海岸の侵食対策」とは

「宮崎海岸の侵食対策」は、宮崎海岸保全の基本方針に基づく、3つの対策(養浜、突堤、埋設護岸)からなるプロジェクトです。

養浜(機能①北からの流入土砂を増やす)

- 失われた土砂の回復のため、養浜を実施(中長期的:宮崎海岸北側や河川からの流入土砂の増加など)
- 砂の動きや養浜の利点(機動・柔軟的な対応可能)を考慮し、北側(大炊田海岸周辺)や侵食の著しい箇所を実施



突堤(機能②南へ流出する土砂を減らす)

- 効率的に海岸の土砂を回復させるため、北から南に動く養浜砂を直接止める(捕捉する)突堤を設置
- 効果の早期発現のため、補助突堤を設置

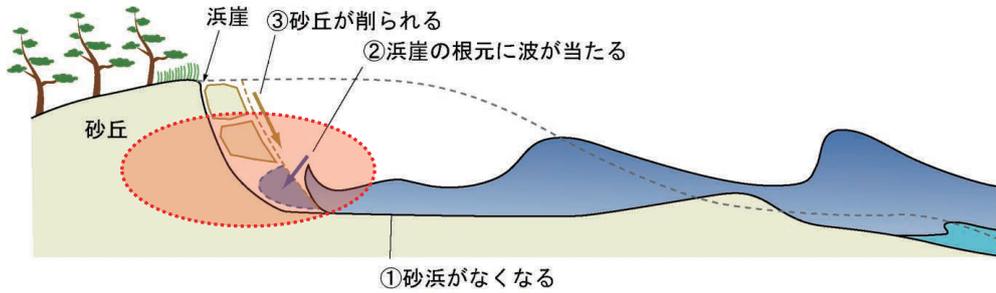


埋設護岸(機能③浜崖頂部高の低下を防ぐ)

- 越波・浸水の防止に対し、自然堤防として重要な役割を果たす砂丘の高さを確保するため、埋設護岸を設置
- できるだけコンクリート以外の材料を使うこと、養浜の実施箇所を工夫し、護岸の表面を養浜で覆うことで、環境・景観・利用に配慮

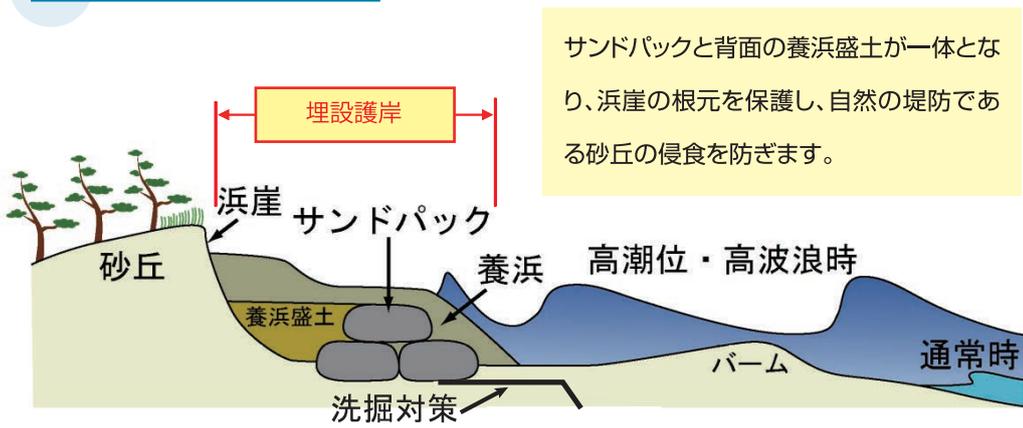


埋設護岸の目的

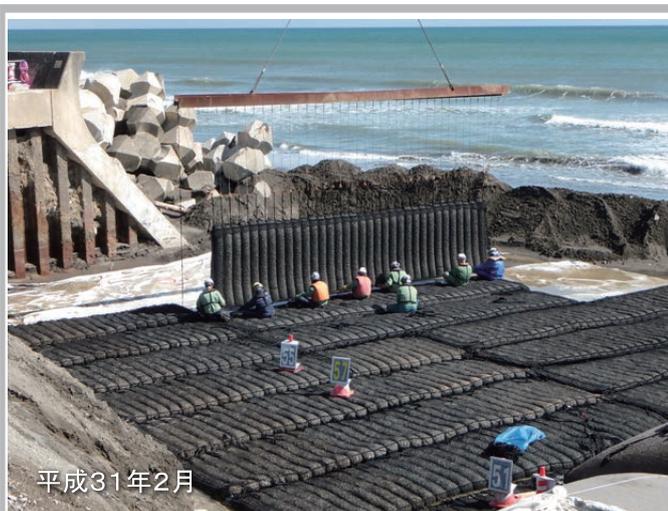


砂丘の侵食を防ぐために浜崖の根元を保護する。

埋設護岸のイメージ



サンドパックと背面の養浜盛土が一体となり、浜崖の根元を保護し、自然の堤防である砂丘の侵食を防ぎます。



洗掘対策の施工(住吉海岸)



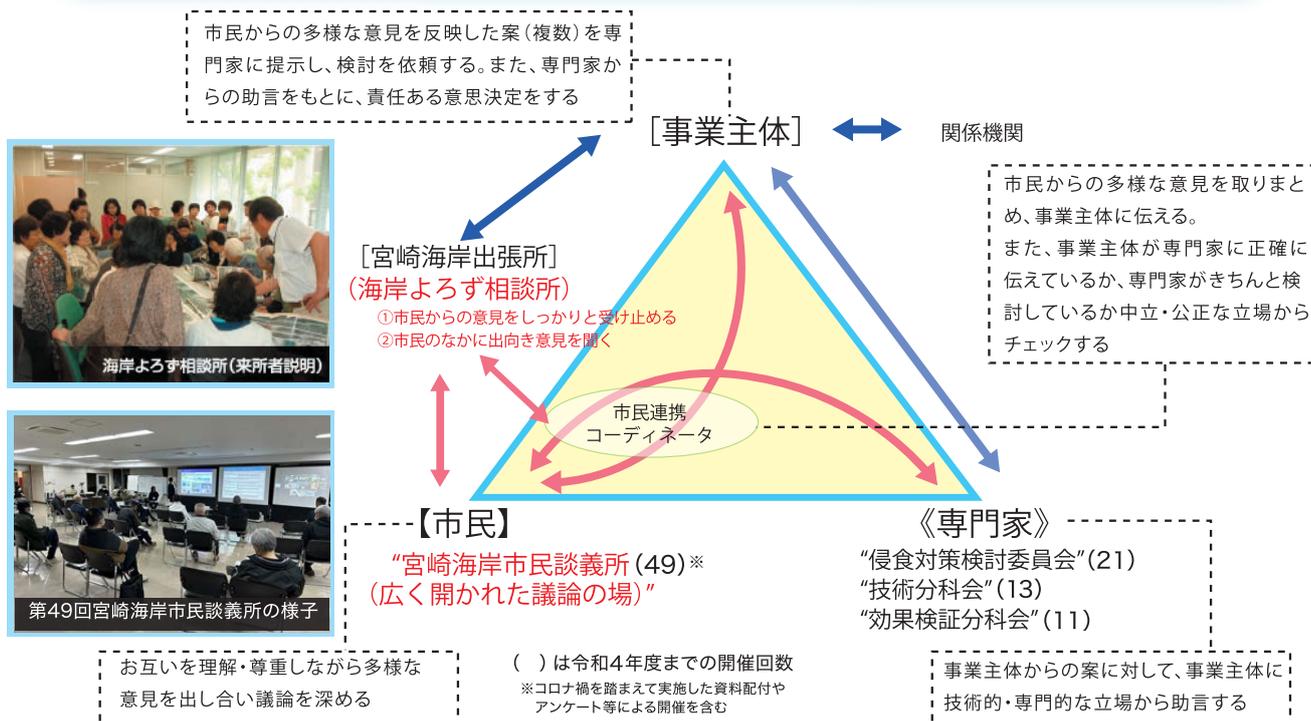
サンドパックの充填作業(住吉海岸)

「宮崎海岸トライアングル」と「宮崎海岸ステップアップサイクル」

平成20年4月に国土交通省直轄事業（宮崎海岸直轄海岸保全施設整備事業）に着手し、侵食対策の2本の柱をもとに事業に取り組んでいます。

宮崎海岸トライアングル

宮崎海岸の砂浜の保全を目的として、行政・市民・専門家が三者一体となって進めています。



～地域との連携に向けて様々な取り組みを実施～



「第1回宮崎海岸サポーターズ 身近な海岸をもっと知ろう!」の開催



「石崎浜ビーチクリーン」開催協力 (宮崎海岸をみんなで美しくする会主催)



宮崎海岸ステップアップサイクル

自然現象の複雑さと社会環境・自然環境の変化に対する未来予測の不確実性を踏まえ、どのような方法をとればよいかを検討・実施し、その方法の効果を確認しながら、修正・改善を加えて、対策を着実に進めています。

